

議員の定数を26人に 決定しました

能代市議会の議員の定数について、議会運営委員会では、平成21年2月20日に議員定数懇談会から報告を受け、4月30日から協議を重ねてきましたが、全会一致の結論に至りませんでした。

このたび9月定例会に、能代市議会の議員の定数を定める条例の制定について、24人案と26人案の2議案が提出され、議決の結果、議員定数26人案を賛成多数で可決しました。(議決結果は7ページ)

これにより、次回の一般選挙から議員定数を26人(現行28人)とすることにしました。

7月臨時会

交付金事業を含む一般会計補正予算等を可決しました。

臨時会は7月21日と23日に本会議を開催し、南部共同調理場建設工事業の建築主体工事及び給排水衛生設備工事の請負契約、能代市立二ツ井中学校耐震補強等工事の請負契約の変更、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業等に伴う一般会計補正予算5億5272万8000円、常盤財産区特別会計及び国民健康保険特別会計の各補正予算を全会一致で可決しました。

21日は提出議案の説明終了後、各案件を各常任

委員会に付託して、詳細に審議しました。

総務企画委員会では、同交付金事業に係る予算措置の考え方について、国から示されている「地球温暖化対策」など4つの項目に該当し、かつ総合計画の実施計画に記載されている事業のうち22年度以降実施予定の事業を優先した。その他、財政状況等によりこれまで実施できなかった施設の維持補修、制度改正により実施が必要とされる事業等を予算計上している、との答弁がありました。

文教民生委員会では、南部共同調理場建設工事業の設計に関し、調理作業でのこれまでとの改善点等について、調理場を仕切ること作業上の安全対策を講じるとともに、場内の温度管理等により、調理員の快適性を確保している、などの答弁がありました。

また、福祉バスの使用範囲について、福祉関係団体が行う福祉活動の促進と社会参加助長を目的としているが、市福祉バス運行管理要綱に基づき、婦人会、園児の送迎等にも使用している、との答弁がありました。

環境産業委員会では、ねぶながし館の七夕灯籠補修について、平成5年のオープン後、全面補修や部分補修は行ってきたが、今回の全面補修により、今後10年程度は耐えられる。また、補修は一人展示館から搬出して行うので、短期間での補修が可能となるが、今後受注業者と協議をして、より効率的な作業方法を検討したい、との答弁がありました。

建設委員会では、同交付金事業実施の優先順位の設定方法について、道路の舗装補修は、交通量の多い路線等を選定し、道路改良は、自治会要望の中から、緊急性の高い箇所を選定している。いずれも22年度以降実施予定箇所である、などの答弁がありました。

23日に本会議を開き、各委員長が審査の経過の概要を報告し、各案件を全会一致で可決しました。

行政視察の受け入れ 13議会83名が来能

議会では、議案の審査や事務に関する調査のほか、議員の調査研究のため行政視察を行っています。能代市にも毎年県外から多くの市議会が訪れています。今年度は10月9日までに13議会83名が市政全般にわたる項目について調査研究していかれました。来能した議会名と視察項目は次のとおりです。

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 熊本県八代市
(能代ふれあいプラザ) | 鹿兒島県指宿市
(きみまち二ツ井マラソン・きみまちの里フエスティバル) |
| 埼玉県三郷市
(都市計画マスタープランの策定にいたる経緯とその概要) | 千葉県君津市
(地域づくり意識啓発事業のその後) |
| 愛知県小牧市
(能代ふれあいプラザ) | 高知県宿毛市
(総合計画・リサイクルポート) |
| 沖縄県金武町
(学力向上に向けた取り組み) | 福島県田村市
(行政改革の取り組み状況) |
| 三重県名張市
(森林バイオマス等活用施設整備) | 埼玉県春日部市
(環境にやさしい自転車・のまちづくり、バイオマスタウン構想) |
| 神奈川県愛川町
(バイオマスタウン構想の概要) | 新潟県上越市
(森林バイオマス等活用施設整備) |
| 神奈川県秦野市
(ふれあいプラザ・森林バイオマス等活用施設整備) | |

※来能した議会の約6割が市内に宿泊いただいています。